

ニュースリリース  
2026年5月13日

ビレッジハウス・マネジメント株式会社

# きれいで暮らしやすい環境づくりを目指して 「知らない」 から「できる」 へ 外国人入居者と学ぶ“地域のごみ分別”イベントを開催

4月11日、岐阜県可児市「ビレッジハウス大池」でフィリピン人など49人が参加

ビレッジハウス・マネジメント株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長兼 CEO：岩元 龍彦、以下ビレッジハウス）は、2026年4月11日（土）に岐阜県可児市の「ビレッジハウス大池」で「団地 de クリーン day～見て・やって学ぶ ごみの分別～」と題した、地域のごみ分別ルールを学ぶイベントを行いました。

本イベントは、日本独自のごみ分別ルールが外国人入居者にとって分かりにくいという課題を受け、きれいで暮らしやすい環境づくりの一環としてごみ分別への理解促進とマナー向上を図ることを目的に「『知らない』から『できる』へ」をテーマに企画しました。「ビレッジハウス大池」に暮らすフィリピン人やベトナム人、ブラジル人、日本人入居者が参加し、講義やクイズを通して分別ルールを学び、実際にごみの分別を体験しました。



母国語での講義を楽しみながら学ぶ参加者（左）、クイズを通じてごみ回収日の理解を促した（右）

当日は、可児市指定のごみ袋を用いた分別ルールの解説、分別ルールを確認できるアプリ紹介、廃油の処理方法の実演に加え、クイズ形式で分別のポイントを分かりやすく解説しました。楽しみながら学べるコンテンツとしてクイズ形式で進められたプログラムでは、参加者が積極的に手を挙げて回答する姿が多く見られました。特にスプレー缶の廃棄方法については、入居者ごとに認識の違いが見られ、日常のごみ分別に対する説明の必要性が伺えました。ごみ分別への理解促進に加え、ごみステーションに設置された多言語看板の確認や、ごみ出しの時間・利用ルー

ルの再周知を行い、正しいごみ分別実践のきっかけづくりを図りました。イベント終了後はキッチンカーでランチを提供し、食後には早速、それぞれがごみを正しく分別する姿が見られました。

「ビレッジハウス大池」は2棟80戸で構成され、69戸約140人が居住しており、そのうち約88%が外国人です。「ビレッジハウス大池」に住み始めて3年以内の人が約25%を占めています。日本で暮らし始めて間もない外国人入居者に、母国語で情報提供を行い、正しいごみ分別方法の理解促進と入居者間の交流を図ることで、地域社会の一員として安心して暮らせるよう、本イベントを実施いたしました。



可児市指定のごみ袋を用いた説明（左）、ごみステーションの使用法について熱心に聞く参加者たち（右）

ビレッジハウスでは、日本で暮らす外国人入居者に安心安全に過ごしてほしいとの思いから、生活に必要な情報を学べる機会として、防災イベントや多文化共生を目指したコミュニティイベントを実施しています。ごみの分別をテーマにしたイベントは2026年3月の愛知県碧南市に続く2回目の開催で、今後も全国の管理物件へと広げる予定です。外国人入居者の皆さまが地域社会の一員として安心して暮らせる環境づくりに、引き続き取り組んでまいります。

#### ■開催概要 「団地 de クリーン day ～見て・やって学ぶ ごみの分別～」

|       |                                                      |
|-------|------------------------------------------------------|
| 日時：   | 2026年4月11日（土） 10:30～13:30                            |
| 実施場所： | ビレッジハウス大池（岐阜県可児市土田字大池 5080-1）                        |
| 参加者：  | ビレッジハウス大池に居住するフィリピン人・ベトナム人・ブラジル人・日本人 49人             |
| 物件：   | 「ビレッジハウス大池」<br>2棟80戸で構成され、69戸約140人が居住、そのうち約88%が外国人   |
| 内容：   | ① ごみ分別ルールの解説<br>② ごみ分別クイズ、廃油処理の実演<br>③ キッチンカーで楽しくランチ |
| 主催：   | ビレッジハウス・マネジメント株式会社                                   |

## ビレッジハウス・マネジメント株式会社について

ビレッジハウス・マネジメント株式会社は、全国 47 都道府県で 1,064 物件（2,960 棟、108,409 戸）<sup>※1</sup> の賃貸住宅「ビレッジハウス」を運営、管理する国内最大級の賃貸住宅サービス会社です。独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構が雇用促進住宅を民間に売却した際に、フォートレス・インベストメント・グループが一括取得し「ビレッジハウス」へリブランディング、リノベーションして賃貸住宅として提供を開始しました。住宅を建て替えるのではなく、既存の建物を有効活用、長く使用することで低賃料を実現し、民間会社で唯一、大規模にアフォーダブル住宅<sup>※2</sup>を提供しています。簡単な事務手続きで、あらゆる世代の単身者、ファミリーの他、外国人や法人の社宅としてもご利用いただけるよう、今後も継続的な供給を維持しながら、よりよい日本の住宅環境を築くことを目指します。

※1 2026 年 4 月 1 日時点の戸数

※2 誰もが生活の質を保ち、手頃な家賃で安心して長く住み続けられる住宅

2026 年 4 月 1 日現在、1,071 名の従業員を擁し、東京本社に加え全国 7 支社を展開、入居にかかる募集から受付、審査、物件管理まで自社一貫のサポート体制を整え、法人向けサービスの拡充にも取り組んでいます。また、多言語対応の強化や 535 名の住宅担当者による物件の巡回で、入居後も安心してお住まいいただけるよう住宅環境の整備も行っています。

■ビレッジハウス・マネジメント株式会社

<https://www.villagehouse.jp/>

本 社：東京都港区六本木 6-10-1 六本木ヒルズ森タワー44 階

設 立：2016 年 12 月 21 日

### 本件に関するお問い合わせ

---

■ビレッジハウス・マネジメント株式会社 事業戦略グループ 広報部

E-mail：[vhm-PR@villagehouse.jp](mailto:vhm-PR@villagehouse.jp)

■ビレッジハウス・マネジメント広報担当 株式会社エイレックス / 山本・今井

Tel：03-3560-1289 Fax：03-3560-1290 E-mail：[vhm-pr@arex-corp.com](mailto:vhm-pr@arex-corp.com)